

さいたま市長定例記者会見

令和4年11月24日（木曜日）

午後2時00分開会

- 進 行 定刻になりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
それでは、記者クラブ幹事社、朝日新聞社さん、進行よろしくお願ひします。
- 朝日新聞 11月の幹事社を務めます朝日新聞です。よろしくお願ひします。
それでは、本日の記者会見内容について市長からお願ひいたします。
- 市 長 皆さん、こんにちは。一昨日22日から開催しました「さいたまサステナブル都市サミット～E-K I Z U N Aグローバルサミット～」は、先ほどテクニカルツアーを終え、3日間のスケジュールが無事に終了しました。
開催に御尽力いただきましたイクレイ日本の皆様をはじめ、参加者や関係者の皆様に深く感謝申し上げます。
本市では初となるグローバルサミットでしたが、9か国、15都市から329名の方の参加があり、さいたま市にとって過去最大の大変国際色豊かな、まさに「グローバルサミット」として開催することができました。
また、トヨタ自動車株式会社、日産自動車株式会社といった自動車メーカーをはじめ、株式会社カネカ、損害保険ジャパン株式会社など多種多様な22社に御協賛をいただくなど、本サミットへの関心の高さを改めて感じたところです。重ねて感謝申し上げます。
サミットは、一昨日のG I N O（ジノ）イクレイ世界事務局長、公益財団法人地球環境戦略研究機関の竹内理事長の基調講演を皮切りに、全体セッションと6つの分科会を開催しました。
全体セッションでは、政令指定都市市長会の久本神戸市長も御来賓として御挨拶いただきましたが、G7の現議長国であり、アーバン7を主導するドイツのミュンスター市長やマンハイム市長から、次期議長国である日本の指定都市市長会会長の久本神戸市長に向けたメッセージをいただくなど、このE-K I Z U N Aグローバルサミットが来年行われるG7広島サミット、アーバン7市長サミットにつながる場となりました。
また、昨日は6つの分科会を開催し、「持続可能な都市の実現」に向け、

活発な意見交換や多彩な取組の紹介が行われました。

分科会では、私自身も2つの分科会に登壇し、本市の脱炭素やスマートシティの取組を発表させていただきました。残りの4つについても本市の職員が登壇して、本市の取組について発表させていただき、6つ全ての分科会で、国内都市だけでなく海外都市からも非常に高い評価をいただくことができました。

その中でも、クアラルンプール市長からは「クアラルンプール市の脱炭素やスマートシティの取組に対して、さいたま市にぜひ協力いただきたい」と強い要請をいただきました。私としても、このサミットをきっかけとして、海外との連携がさらに進んでいくことを期待しています。クアラルンプール市長に対して、本市と一緒に取り組んできた民間企業とも連携して、しっかりと協力していくことをお伝えしました。

このように本サミットの開催による海外との連携が生まれていますが、それぞれの都市・企業が抱える課題や取組について一堂に会し、意見交換や情報共有を行えたことで、参加された皆様同士の絆が生まれたと考えています。

また、イベントとして開催された「さいたまSDGs子どもフォーラム」では、「私たちでつくる！持続可能な未来～さいたまSDGs教育での学びから～」をコンセプトに、市立小中高の学生をはじめ、グローバルサミット関係者など多くの参加があり、4つの学校からの取組発表やパネルディスカッションがありました。

特にパネルディスカッションでは、パネリストである児童生徒が書き込んだ画面を会場全体で共有し発表していました。会場全体が参加する形でパネルディスカッションが行われることに大変驚くとともに、一体となってこの問題に取り組んでいる子供たちの頼もしさを強く感じ、とても明るい未来をイメージすることができました。子供たちの今後の成長に大いに期待するとともに、未来を担う子供たちのために、このE-K I Z U N A グローバルサミットを通じて結ばれた「絆」を生かし、互いに協力しながら「持続可能な都市の実現」に向け、さらに取り組んでいくことを改めて強く決意しました。

それでは、議題に入らせていただきます。

市長発表：議題1「新型コロナウイルス感染状況とワクチン接種状況について」

議題1「新型コロナウイルス感染状況とワクチン接種状況」について説明します。

まず、最新の本市の感染状況についてです。先週1週間の新規陽性者数は5,087人で、前週と比べ1.14倍です。日別の新規陽性者数について、左上のカレンダーを御覧いただくと、赤枠で囲ってあるとおり前週と同じ曜日を上回る発生が続いています。

今般の感染拡大は、10月中旬以降5週にわたり増加傾向が継続していることから、一時的な再拡大ではなく、新たな感染拡大期に入ったのではないかと認識しています。これまでのところ、今年7月の第7波のときのような急激な拡大にまでは至っていませんが、今後の流行株の置き換わりの状況や、年末にかけての社会経済活動の活発化による接触機会の増加等が感染状況に影響するおそれもあることから、引き続き最大限の警戒感を持って感染動向を注視してまいります。

次に、本市の新型コロナワクチン接種状況についてお知らせします。11月24日時点のオミクロン株対応ワクチンの接種済み数は23万2,732名で、接種率は19.5%です。現在約430か所の個別接種実施医療機関と、駅から近い場所や身近な商業施設など8か所に開設している集団接種会場で、オミクロン株に対応したワクチンの接種を受けられます。感染が拡大傾向にある今、ぜひ早めの接種を御検討ください。

なお、さいたまスーパーアリーナ会場では、12月の金曜日は、受付時間を現在の「午後6時30分まで」から「午後9時まで」に延長して接種を実施します。仕事帰りや学校帰りに接種を受けやすくなりますので、働く世代や若い世代の方に積極的に御利用いただきたいと思います。

新型コロナは過去2年、年末年始に流行していますので、これから接種時期を迎える方も年内の接種を御検討ください。

感染拡大が始まる中、本市としては2つの柱を基本として取組を進めています。

まず、1つ目の柱は、「感染予防や早期発見のための取組」です。感染防止対策の徹底、ワクチン接種、検査キットの事前購入など、私からこれま

でもお願いしてきたところですが、この冬に向けて積極的な広報を継続し、市民の皆様へ引き続き呼びかけてまいりたいと考えています。

もう一つの柱は、「健康観察や相談体制の強化のための取組」です。重症化リスクのある方や高齢者の陽性者に対する健康観察等について、感染者が増加しても着実に対応ができるよう、感染状況に応じた人員体制を構築していきます。

感染予防や早期発見、また、感染した場合であっても安心して療養生活を送ることができるよう、これらの2つの柱による取組の強化により、本市の新型コロナ対策に万全を期してまいります。

最後に、市民の皆様へ繰り返しをお願いをさせていただきます。新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行すると、発熱外来がひっ迫する可能性があります。発熱外来受診者を減らすための取組として、基本的な感染防止対策の継続、新型コロナと季節性インフルエンザの両方のワクチンの早期接種、そして検査キットや解熱鎮痛剤などの事前購入について、ぜひ御協力をお願いします。

市長発表：議題2「さいたま市議会12月定例会提出議案について」

続いて、議題2「令和4年さいたま市議会12月定例会の提出議案」について説明します。

令和4年さいたま市議会12月（11月繰上げ）定例会を11月30日に開会します。

議案数は合計で47件です。予算議案が4件、条例議案が10件、一般議案が24件、道路議案が2件、人事議案が7件です。

補正予算議案から説明します。補正予算議案は、一般会計で13億9,952万2,000円、特別会計で2億4,446万3,000円、企業会計で7億7,101万3,000円、合計で24億1,499万8,000円です。

補正予算の特徴を説明します。まず、「1 持続可能で魅力ある都市農業の確立」についてです。その1つ目として、農業交流施設の早期整備に向けて、公募設置管理制度、いわゆるPark-PFIによる事業者の公募、選定等の準備を行うものです。

農業交流施設整備事業アドバイザー業務として債務負担行為を設定し、限度額は1,785万3,000円です。

次に、2つ目として、ナラ菌による森林被害の拡大を防ぐため、防除対策に係る経費の一部を補助するもので、森林管理事業として300万円を計上しています。森林所有者等の経済的負担軽減を図るとともに、官民が一体となりナラ菌に対する防除対策を実施してまいります。

次に、「2 デジタルインフラの整備の推進」についてです。その1つ目として、マイナンバーカードで受給資格の確認ができる医療扶助オンライン資格確認の導入に向けた生活保護システムの改修を行うものです。医療扶助オンライン資格確認導入に伴う生活保護システム改修等の業務として債務負担行為を設定し、限度額は1,046万9,000円です。

また、医療扶助オンライン資格確認導入に伴うデータ連携用端末賃借料として債務負担行為を設定し、限度額は803万5,000円です。

次に、2つ目として、今般の半導体不足の状況を踏まえ、統合基盤システム等で使用するハードウェア機器の調達を前倒しして実施するものです。統合基盤システム等ハードウェア賃借料として債務負担行為を設定し、限度額は6億4,788万2,000円です。

次に、その他の特徴について説明します。公共工事の施工時期等の平準化を図るため、令和4年度から発注することができるよう債務負担行為の設定を行うものです。スマイルロード整備工事ほか19事項で債務負担行為を設定し、限度額は合計で14億5,794万3,000円です。

また、下水道事業会計で債務負担行為を設定し、限度額は6億2,140万円です。

次に、令和5年度以降の指定管理者の指定に伴い債務負担行為の設定を行うものです。プラザノース管理業務ほか11事項で債務負担行為を設定し、限度額は合計70億8,857万8,000円です。

次に、主な条例議案について説明します。「さいたま市市税条例及びさいたま市事務手数料条例の一部を改正する条例」と、「さいたま市戸籍等関係事務手数料条例の一部を改正する条例」を制定します。

改正内容の1点目は、コンビニ交付サービスにおける戸籍の謄抄本の交付手数料を450円から350円に減額するものです。

改正内容の2点目は、電子申請届出サービスにおける税証明書、戸籍の謄抄本、住民票の写し等の交付手数料を、本市の行政手続オンライン化の目標時期である令和8年3月31日までの間、100円減額するものです。

手数料を減額することにより、電子申請の利用促進とマイナンバーカードの普及促進を図り、市民の皆様の利便性の向上につなげてまいります。

市長発表：議題3「キャッシュレス決済に対応した窓口を拡大します」

続いて、議題3、令和4年12月1日から開始する「キャッシュレス決済に対応した窓口の拡大」について説明します。

経済産業省の調査では、わが国の昨年のキャッシュレス決済比率は32.5%となっています。政府は、令和元年6月の閣議決定において、令和7年6月までにキャッシュレス決済を4割程度とする目標を掲げています。一方で、本市のインターネット市民意識調査では、手数料などの支払いにキャッシュレス決済を利用したいと回答した方が約6割となっています。

本市では、多様化する市民ニーズや新しいライフスタイルに対応するため、市の窓口におけるキャッシュレス決済を推進しています。昨年8月に策定した「DX（デジタルトランスフォーメーション）推進に向けた当面の重点事項」では、令和5年度までに本市の60施設でキャッシュレス決済を導入することを目標に掲げています。

本市のこれまでの窓口におけるキャッシュレス決済の対応状況ですが、まず平成25年度に市立病院における医療費に対応しています。令和元年度には大宮盆栽美術館、岩槻人形博物館、青少年宇宙科学館、うらわ美術館における観覧料などに対応しています。令和3年度には大宮区役所区民課における住民票の写しなどの交付手数料と、北部市税事務所市税の総合窓口における税証明書の交付手数料に導入しました。このほか、駐輪場やスポーツ施設、公園など、指定管理者が管理する施設においてもキャッシュレス決済を導入しています。利用者の利便性の向上を図るため、キャッシュレス決済に対応した窓口の更なる拡大が必要と考えています。

そこで、12月1日から2つの取組を実施します。1つ目の取組として、住民票の写し、戸籍、税証明などの交付手数料にキャッシュレス決済を本

格導入します。これまでは令和3年6月から試験導入している大宮区役所区民課と北部市税事務所市税の総合窓口の2つの窓口でしか取り扱っていませんでした。これを全ての区役所区民課、市税の総合窓口、市税の窓口、支所、市民の窓口の45の窓口に大幅に拡大します。これにより、市内全域でキャッシュレス決済に対応することになります。新たに対応する窓口には、特にキャッシュレス決済の利用が多く見込まれる駅前の支所や市民の窓口も含まれており、利用者の利便性の向上が期待されます。また、決済手段についても、JCBやV i s aなどといったクレジットカード決済、S u i c aなど交通系I Cカードをはじめとした電子マネー決済、P a y P a yなど二次元コード決済、いわゆるQRコード決済にも対応します。

2つ目の取組ですが、大宮盆栽美術館、岩槻人形博物館、青少年宇宙科学館、うらわ美術館の4施設において、新たにスマートフォンなどによる二次元コード決済を導入します。これらの施設は、これまでクレジット決済と電子マネー決済に限られていましたが、二次元コード決済にも対応することとしました。二次元コード決済に対応することで、今後増加が見込まれる外国人観光客にも利用していただけると考えています。クレジットカード決済や電子マネーについても、対応する決済ブランドの種類を増やします。

今後も窓口を利用される方の更なる利便性向上のため、キャッシュレス決済に対応した窓口の拡大を図ってまいります。

市民の皆様や市外、海外からお越しになる皆様にキャッシュレス決済をぜひ御利用いただきたいと思っております。

私からの発表は以上です。

議題に関する質問

○ 朝日新聞

市長からの説明についてマイクを使用して質問をお願いします。

キャッシュレス決済についてなんですけれども、令和5年度までに60施設まで拡大されていくというふうな目標も掲げていますけれども、実際今キャッシュレス決済って利用率、そして今後どれぐらいまでさいたま市として利用率を上げていこうという何か目標はありますか。

○ 市長

令和3年度の金額ベースでの実績を申し上げますと、昨年6月に開始した大宮区役所と北部市税事務所における証明書交付手数料では3.58%、

令和2年3月に導入した文化・教育施設の観覧料、入館料、物販では14.89%となっています。

また、今後の目標としては、令和5年度末には既に先行して実施している文化・教育施設の4館については20%、区役所の区民課、市民の窓口、市税の総合窓口などでは10%を目標にしていきたいと考えています。

○ 日経新聞

日経新聞です。

関連した質問なんですけれども、12月1日で45か所に拡大されるということだと思えるんですけれども、これから15か所増やして60か所の目標に上げていきたいというところで、具体的にこの施設の導入を今後進めていきますという何か15か所の内訳みたいなものって考えていらっしゃいますか。

○ 市長

施設としては市立病院を含め40施設で対応することになりますが、今後は指定管理を行っている施設のうち、市の直接収入となるコミュニティ施設での使用料支払いなどでキャッシュレス化を進めていきたいと考えています。

○ 埼玉新聞

埼玉新聞です。

先ほど補正予算のところ、光熱費で大分補正がありましたけれども、原油価格に基づくものなんですけれどもその受け止めと、何か節電など政府が冬場に要請すると見られていますけれども、さいたま市としてどういった対応というか呼びかけとかあるか、お聞きしたいんですけれども。

○ 市長

水道光熱費については9月定例会でも補正を出させていただいていますし、また12月でも出すようになっています。やはり想像以上に大きな影響を及ぼしていると感じていますので、今後節電などしっかり取り組みながら、できる限りの費用の縮減に努めていくと同時に、またどうしても予算措置を伴う部分がありますので、それらについてもしっかりと対応して、市民サービスに影響のないようにしていかなければならないと考えています。

○ 埼玉新聞

東京都ですか、ウォームビズとって厚着してくださいみたいな話も出ていますけれども、市役所として何かそういったことを考えていらっしゃいますでしょうか。

○ 市長

ここ数年、節電については市役所としてもいろいろな形で取り組んでい

ます。今年は特に電力供給の関係も冬場は非常に危機感を持って注視していかなくてはならないと考えています。お話をあつたウォームビズも含めて、できる限り暖かい格好をしながら、暖房、電気など（の使用状況）の小まめなチェック、消灯などに努めていきたいと思っています。

幹事社質問：2年半ぶりに開催されたさいたまシティカップに関する市長の感想及び市のPR効果について

○ 朝日新聞

それでは、幹事社として代表質問させていただきます。

先週の話になりますが、2年半ぶりにさいたまシティカップが開催されました。サッカーワールドカップ開幕前で、昨日日本戦もありましたけれども、サッカーが全国で注目されている中での開催について、観戦された感想、市のPR効果についてお聞かせください。

○ 市長

それでは、幹事社質問にお答えします。

去る11月16日、ドイツのブンデスリーガの強豪クラブであるアイントラハト・フランクフルトを本市に迎えて、浦和レッズと対戦する「第12回さいたまシティカップ」を盛況のうちに開催することができ、大変うれしく思っています。

また、市民をはじめ、市内外から平日にもかかわらず2万4,000人を超える方々が埼玉スタジアムに足を運んでいただき、世界一流のプレーを現地で見ていただけたことも、主催者として今大会を開催してよかったと考えています。

さらに、長谷部誠選手の凱旋試合ということで、プロサッカー選手としてのキャリアをここさいたま市でスタートさせ、その後ドイツに渡ってさらに成長を遂げて大変素晴らしい選手になって戻ってきたことを大変うれしく思います。長谷部選手が後半30分頃に交代でピッチに入ったときには、スタンドからも大変大きな拍手が送られました。声出し応援エリアに設置されたゴール裏のサポーターからの歓声を聞いたときには私自身も感慨深いものがありました。

試合の内容としては、両チームとも攻撃的にゴールを狙いに行く試合で、結果的に合計で6点が入るとい、見ていて大変楽しい展開になったと思います。試合後の会見でフランクフルトのオリヴァー・グラスナー監督も話していたとおり、来日したのが試合前日ということで、必ずしもベスト

とは言えないコンディションだったと思いますが、その中でもあれだけのプレーができるということは、さすがドイツの強豪クラブであると感じました。

浦和レッズにとっては、2022シーズン最後の試合となりました。今シーズンで退任するリカルド・ロドリゲス監督の花道を飾る素晴らしい勝利になったのではないかと思います。

また、フランクフルトを相手に4点を奪う攻撃力を見て、少し気が早いですが、来年に控えたアジア・チャンピオンズリーグの決勝や来シーズンのJリーグに向けて期待が高まるような勝利だったと思います。観戦した皆さんにもきっと満足をしていただけたのではないかと思います。

市のPRという点では、まず今大会がテレビ東京系列で関東エリアをはじめ全国の主要な大都市圏で生中継されたこと、本市と同じく主催者であるスカパーの衛星放送や、様々なネット媒体によるライブ配信のほか、ドイツでもラジオ放送が行われるなど、市内外に試合の様子が多く放送されました。そして、大会後には各テレビ局のニュースや新聞各紙で取り上げていただいたことで、本市の取組を市内外に大きく発信できたと考えています。改めて報道の皆様へ感謝を申し上げます。

このほかにも、大会前にはテレビやインターネットで大会のCMが流れ、試合当日は埼玉スタジアムのピッチの脇にあるLED看板に、本市のロゴマークやさいたまシティカップの大会ロゴマークが何度も流れるなど、様々な場面で本市をPRすることができました。今後も「サッカーのまちさいたま」を発信するため、引き続き様々な事業に取り組んでまいります。

以上です

幹事社質問に関する質問

- 朝日新聞 代表質問の説明に関して質問がある方はお願いします。
- 埼玉新聞 シティカップとは直接関係ないんですけども、ワールドカップの昨日のドイツ戦、日本が歴史的勝利ということで、清水さんも御覧になったのかどうかというのとちょっと感想をお聞かせください。
- 市長 私も昨日は自宅で家族と一緒に観戦しました。浦和レッズの酒井宏樹選手をはじめ、日本代表選手の熱い総力戦となりました。激しいドイツの攻撃を前半でしっかりと受け止めながら、1点のビハインドで何とかとどめ、

後半に堂安選手、それから浅野拓磨選手の素晴らしいゴールで勝ち越して、また権田選手の素晴らしいファインセーブを何度も見せていただき、2対1の大変劇的な勝利を収められたということで大変うれしく思い、興奮いたしました。強豪国が多いグループリーグの組合せになっていましたので、悲観的な見方も一部ではあったかと思えますけれども、この初戦に勝利したことで、市民の皆さんをはじめ多くの方々に夢と希望、また感動を与えていただいたのではないかと思います。第2戦以降も素晴らしいプレーを期待したいと思います。

- 朝日新聞 ワールドカップなんですけれども、昨日の試合に続き、しばらく日本戦も含めてあります。さいたま市の中でさらにまた市民とサッカーで興奮するような、そんな取組は何かありますか。
- 事務局 市民こぞってのパブリックビューイングなどにつきましては、今大会は時差の関係もあり実施する予定はございません。以前資料提供させていただきましたが、主要な駅前でのバナーフラッグの掲示や、写真展を開催しているところです。

その他：順天堂大学病院の誘致について

- 朝日新聞 それではほかに質問がある社をお願いします。
- 毎日新聞 毎日新聞です。よろしくお願いいたします。
県が進めている順天堂大新病院の誘致についてなのですが、順天堂大のほうからは環境評価調査計画書が2015年3月に承認されて以降、ようやく提出されたことについての市長の受け止めをお聞かせください。
- 市長 学校法人順天堂から環境影響評価の調査計画書が（市）に提出されまして、12月14日までの間縦覧をしているところです。あわせて、12月28日までの間、調査計画書に対する意見募集を順天堂で行っていると伺っています。環境影響評価等、事務的な手続になかなか入れない状況が続いていましたので、ようやく前に進んできていると感じているところです。今後もスケジュールの前倒しをお約束をいただいていますので、県と連携しながら、その計画の進捗状況を私たちもできる限りサポートしていくとともに、しっかりと見守っていきたいと考えています。
- 毎日新聞 さいたま市の土地の貸付けの条件について地域にどのような貢献をするか、その説明は大学側のほうからされたんでしょうか。

- 市長 現時点では、まだ正式な形では行われているとは聞いておりません。

その他：先進医療の不妊治療費助成について

- 朝日新聞 朝日新聞です。

不妊治療についてお聞きします。不妊治療について今国のほうで保険適用を進めているんですが、全ての治療が保険適用になるのではありません。それで、戸田市で先日、不妊治療の中で先進医療の一部について市独自に助成をしますよというような発表ありました。さいたま市でも不妊治療について何らか助成を独自にされていく、そんなお考えはありますか。

- 事務局 不妊治療については、さいたま市では現時点では保険適用されていない先進医療費について助成を行うことは、具体的には検討しておりません。不妊治療は、御質問の中にもお話があったように、令和4年4月から有効性、安全性が確認された治療法については保険適用となっています。先進医療につきましては、有効性、安全性など、引き続き、エビデンスの集積が必要ということで国から判断がされていますので、その公的補助の在り方については検討が必要かと考えています。

- 朝日新聞 あともう一点、不妊治療の中にはがん治療で生殖器に異常を来すというおそれのために、治療の前に精子だとか卵子を冷凍保存して、子供を授かることに備えるというふうな妊孕性（にんようせい）温存治療というのがあります。これは、20代とか40代の夫婦だけではなくて、まだ異性と付き合ったことがない10代の若者もがんにかかって保存されたりします。ただ一方で、冷凍保存するときには実際に授精して出産するまでの長期間冷凍保存費用がかかります。これは、まだ国とか埼玉県では助成の対象になっておりません。これについても市で何らか助成の対応というのはされるお考えはありますか。

- 事務局 凍結保存についても、将来的に凍結が必要だという方についての助成も現在のところは検討しておりません。先ほどありました保険適用になる治療の途中経過の方については、その保存についても保険診療で認められていますので、そのような形で対応していくことになります。

その他：南浦和中学校の第三者委員会について

- 埼玉新聞 埼玉新聞です。

南浦和中学校の男子生徒の自殺の関係ですけれども、まだ第三者機関の

発表はないんですが、御遺族が市長に要望書を提出されていると聞いています。その提出された要望書に対しての対応というのはどういうふうと考えていらっしゃいますか。

○ 市 長 先般保護者の方から要望書を受けたところです。これらについては、適切に教育委員会で対応していただいていると聞いていますので、その推移を見守っているところです。

○ 埼玉新聞 御遺族は、あまり適切に対応していただけていないという趣旨だったものですから、教育委員会ではなくて市長にということなんですけれども。

○ 市 長 その後についても、継続して適宜保護者の御意向を伺いながら継続して対応していると伺っていますので、適切に対応がなされているという理解を現時点ではしています。

○ 埼玉新聞 清水市長からも適切に対応してほしいというか、対応してくださいというふうに教育長にも伝えているということですか。

○ 市 長 そういうことです。

○ 朝日新聞 どうもありがとうございました。

以上をもちまして本日の記者からの質問を終了させていただきます。

○ 進 行 それでは、以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。

なお、次回の開催は12月20日火曜日午後2時からを予定しています。
本日はありがとうございました。

午後 2時40分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。